

# ぽこ・あ・ぽこ

Poco a Poco イタリア語で「少しずつ」という意味です。

発行者 神戸婦人同好会 子供の家  
社会福祉法人 兵庫県尼崎市若王寺3-16-3  
〒661-0974  
tel 06 6491 8953 fax 06 6498 3444  
支援センター (tel. fax) 06-6491-1811  
E mail (子供の家) info@kodomono-ie.org  
(支援センター) candy@kodomono-ie.org  
URI http://www.kodomono-ie.org

第42号 平成16年 9月15日 発行

## 高学年キャンプ



七月二十六日から一泊二日で、子供の家の夏の行事として「高学年キャンプ」があり、小学生八名と中学生一名、引率職員三名が参加しました。  
一日目は午前八時前に子供の家を出発し、中国自動車道を西にひたすら走り、加西ICを降りて最初の目的地である八千代町の「エアレーベンヤちよ」に到着しました。そこでは手打ちそば作り体験をしました。子どもの中には、小学校で体験済みの子もいて、上手に出来上がりその日の昼食として、本当においしく頂きました。その後近くの完成したばかりの「なか・やちよの森公園」で川遊びをした後、再

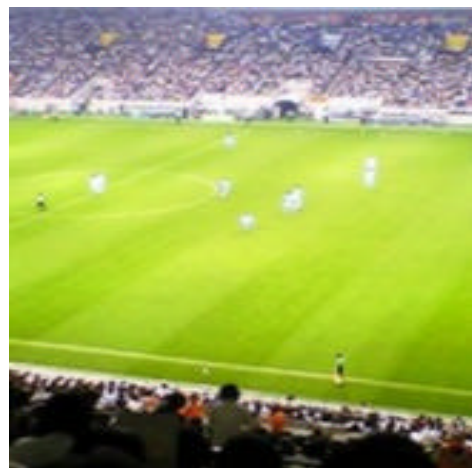
び中国道に乗り、今度は東へ戻って、舞鶴若狭自動車道に入り、篠山市にある「ユニトピアささやま」に向かいました。この日の天候はやや雷が鳴り心配されたのですが、結局雨は降らず、少し水遊びをした後、夕食の準備に取り掛かりました。メニューは、今回のキャンプの前に子ども達で決めた、バーベキューと焼きそば、焼きおにぎりです。参加メンバーは、キャンプ初心者が多く、本当に出来るのか不安だったのですが、火起こし・調理を子ども達と職員が協力して行ない、大きな失敗もなくそれなりのディナーとなりました。夜は、お決まりの花火で楽しみました。

二日目の朝食は手作りのホットケーキとホットドッグ。その後「ユニトピアささやま」を後にして、篠山市内の川で再び水遊びや川魚つかみをし、また川原ではすいか割りをしました。二日間とも天候に恵まれ、子ども達は普段子供の家の近くでは出来ない川遊びや、都会ではなかなかお目に掛からないオニヤンマやニイニイゼミなどの虫捕りを、飽きることなく楽しんでいました。

## サッカー観戦

七月二十七日(火)職員二名、子ども達八名で神戸ウイングスタジアムにヴィッセル神戸対SSラツイオとのサッカー観戦に行きました。生で観るサッカーの試合に白熱した雰囲気を感じ、子ども達も真剣に試合を眺めていました。結果は、SSラツイオが三対

〇で勝ちましたが、サッカーの面白さを改めて感じさせてくれるゲームでした。



## 花火見学

八月三日(火)英知大学よりご招待していただき、第十六回平成淀川花火大会を大学のサピエンチア・タワー十階で花火を観ました。参加した子ども達(九名)は、花火が上がった瞬間「きれー」と大歓声をあげていました。夏の夜空にきれいな花火を観ながら子ども達は素敵な夜を過ごしました。



## 子ども会

八月五日（木）子ども会でポケットメンターの最新の映画を塚口さんさルタウンで観ました。子ども達は以前からポケットメンターの映画である事は知っていたのでとても楽しみにしていました。映画が始まると子ども達はずぐに静かになり、食い入るように眺めていました。上映後、子ども達に感心を尋ねてみると「楽しかった」とい言葉が返ってきて大変良い表情をしていました。帰ってから絵日記に映画を観に行った事を書く子ども達もいて休みの良い思い出ができました。

## 盆踊り



八月七日（土）若王寺三丁目が主催する「第四回小園盆踊り」が向田公園で行われ、今年も子供の家から模擬店として「焼きそば」を出店しました。職員二名、中高生の女の子三名とボランティア三名で模擬店を行いました。お板の熱さと戦いながら約四百食を作

って売りました。また、盆踊りに小学生も遊びに来て盆踊りを観たり、模擬店などを回りながら夏の夜のひと時を楽しんでいました。

## わくわくチャレンジ キャンプ



八月七日（土）十日（火）三泊四日 丹波少年自然の家で兵庫県児童養護連絡協議会が主催する「第五回わくわくチャレンジキャンプ」が実施されました。兵庫県下十四の児童養護施設の小中学生五年生、六年生の入所児童六十五名が参加し、児童養護施設の職員や大学院生が一对一でトレーナーとして子ども達に付いてキャンプ生活を一緒に過ごしました。また、プログラムムのアドバイザーとして大学の先生方も多数参加されました。キャンプのテーマは「夢への絆」で人ととの出会いを大切にしながら自然探検、科学、工作、アーティスト、野球、サッカー、バレー、ボールのグループに分かれ、自分

達の夢を実現させる為に色々な取り組みをしました。子供の家からは小学生六年生五名が参加し、三日目の夜にチャレンジした事を皆の前で堂々と発表していました。本当に充実したキャンプでした。

## プロレス観戦

八月九日（月）神戸ワールド記念ホールで行われた新日本プロレスのG1クライマックスのチケットを新日本プロレスリング株式会社からいただき、中高生の男の子十名と女性職員三名で観戦しに行つて来ました。プロレス観戦が初めてという子ども達ばかりで最初はルールや見所もいまいち分からないという感じだったので、試合を観るにつれ、それぞれの選手に応援を始めるなど、プロレスの面白さにごんどん引き込まれて行っていました。また、子ども達は選手が入退場する際に花道の最前列で「がんばれ！」など声を掛けたり、選手に握手をしてもらおうと一生懸命に手を伸ばしていました。握手をしてもらった子どもは、もう大興奮で「感動した」と大変喜んでいました。また是非、プロレスを観に行きたいと皆が言っていました。ご招待をしていただき本当に有り難うございました。

## 体験ダイビング

今年も中高生三名を連れて和歌山県串本町まで体験ダイビングに行つてきました。ここには、子供の家を卒園し

たAくんが、現在大学を通いながらお世話になつて居る所でとてもよく面倒をみてくれました。子どもたちは、魚釣りや太地のくじら博物館、古座川の一枚岩の見学、温泉に入ったりと楽しんでいました。また、ボランティアとして施設の掃除やエア・タンクのチャージなどを手伝ったりとても充実した日程を過ごしました。



## バレーボール練習試合 (尼崎学園)

八月十六日（月）尼崎学園とバレーボールの練習試合を行いました。尼崎学園の隣の体育館で準備運動と軽く練習をした後、ポイント・ラリー制（二十五点マッチ）で六ゲーム行いました。試合の結果は、三対三の引き分けでしたが、最後の試合は五点差で負

していたところを諦めずにジューズに打ち込み、逆転で勝つ事ができる等、張り強さも見せてくれました。



## ユースセミナー

八月十九日(木)～二十日(金)兵庫県立但馬長寿の郷で行われた「ひよごユースセミナー(チャレンジ・キッズ夏のふるさと庵)」に中学生の女子一名が参加しました。初めて職員引率なしで電車に乗り、現地へ一人で行きました。シャトルバスに乗り遅れるハプニングはありましたが、キャンプではリーダーシップを取るなど楽しんできた様子でした。無事に一人できり帰ることができ、良い社会経験になったと思います。行った本人も職員の方が心配でドキドキ、ハラハラするキャンプとなりました。

## 夏祭り



八月二十一日(土)雨が心配されましたが、みんなの願いが伝わったのか、晴天に恵まれました。予想以上に地域の方や関係機関の方々も参加していたので、昨年よりもぎわった夏祭りになりました。参加者の中には、子供の家を退所した子ども達やその家族の方々の姿も見られました。大きく成長した姿や子どもにかかわる家族の様子を見ていてこの仕事の良さを感じました。夏祭りには、祭りを楽しむだけでなく新たな出会いや再会もあり、とても嬉しく思いました。今後も職員全体で盛り上げていきたいと思っています。沢山の参加をしていただき、本当に有り難うございました。

## 裁判所の見学

八月二十七日(金)中高生五名と職員三名で神戸地方裁判所へ裁判を傍聴

しに行きました。子ども達も初めて裁判の傍聴を見て少し緊張していましたが、刑事裁判を三件傍聴する事ができ、長い時間でしたが、集中して見る事ができました。テレビで見ると事しかない裁判を実際見る事ができ弁護士や裁判官の話のやり取りを生で聴き、良い経験になりました。また、裁判とは人の運命を左右する場である事を裁判官より教わりました。

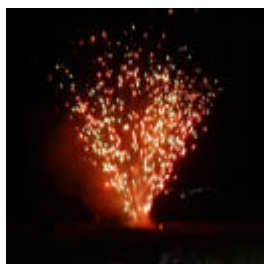
## ダンス・レッスン

八月二十九日(日)子供の家のホールでスタジオ・ムーブの方々が、子ども達にダンスのレッスンをしてくれました。子ども達は、最初にムーブの方々の素敵なダンスを見た後、軽快な音楽にあわせて準備体操としてストレッティング体操をして体をほぐし、ダンスの基本的なステップやダンスの振り付けなどを教わりました。中・高生の子ども達は、最後まで熱心に取り組んでいました。



## 花火見学の招待

八月二十九日(日)六月に子供の家の木の剪定をしていた「伯龍園設」の方々から今回は花火見学の招待を受けました。猪名川の河川敷で十六名の子ども達は手持ち花火をした後、伯龍園設の方々の打ち上げ花火を观看了。連続して打ち上げられる花火をみて子ども達は、驚きのあまり歓声をあげていました。市販の打ち上げ花火だと言われていましたが、大量の花火が打ち上げられ、迫力のある豪快な花火でした。



## 低学年キャンプ

八月十七日～十八日、幼稚園、小学二年生の七名、アシスタントの高校生一名、職員二名で大阪府立総合青少年野外活動センターで低学年キャンプを行いました。初日は残念ながら雨が悪く、当初予定していたキャンプ・ファイヤーなどは、室内に変更になりました。雨が降りましたが、みんなで一生懸命に作ったカレイライスはとても美味しくたくさんおかわりをしていました。また、キャンプ・ファイヤーでは他の家族と一緒に楽しく一時を過ごしました。二日目は、なんとか

へ気ももって、川でカニや魚を見つけ  
遊びました。残念ながら天候には恵  
まれませんでした。怪我もなく、楽  
しく過ごせた二日間でした。



## 無人島に生きる

八月十日～十六日の一週間、キャン  
ン「無人島に生きる」で母と子の島・  
松島へ中学生の男児一名が参加しまし  
た。

参加した子どもの感想

松島へは、一時間ぐらいカヤックを  
貸いで行きました。とてもしんどかつ  
たです。ここではグループに分かれテ  
ントを張り生活しました。食事は一日  
一食、自分で作りました。山菜や貝  
を取ったり、鶏をさばいたりしてご飯  
を食べました。自炊する時、火を焚き  
言さに耐える事が大変でした。松島の  
空はとても綺麗でした。この一週間、  
大変な事も沢山あったけれど、このキ

キャンプで出来た友達がいたから乗り切  
る事が出来たと思います。僕は、この  
夏休み、とても貴重な経験が出来、良  
かったと思っています。

## バレーボール練習試合 合（淡路学園）

八月三十日に一泊二日で国立淡路青  
年の家でバレーボールの合宿をする予  
定でしたが、大型の台風十六号が接近  
した為、残念ながら中止になりました。  
三十一日は台風も通過し、合宿で予定  
していた淡路学園とのバレーボールの  
練習試合を日帰りですることになりま  
した。バレーボールの選手（十二名）  
以外に十一名の女の子と四名の職員も  
応援で参加しました。ふれあい公園で  
お弁当を食べた後、サンライズ淡路の  
体育館で練習と試合をしました。試合  
は、惜しくも一対二で負けましたが、  
子ども達にとつて夏休み最後の良い思  
い出になりました



みなさまのご厚意に  
心から感謝申し上げます

寄贈・寄付者と内容

（四月～八月まで）

### 寄贈

- フェニックス神戸ソントクラブ
- 小林 保 様
- 大谷 直輝 様
- 佐藤 ちはる 様
- 阪本 宝玲 様
- 宮本 登世 様
- 加納 敏子 様
- 友愛企画 花田 晴吉 様
- フタバインターナショナル  
トレード株式会社 様
- 萩原 巖雄・カホル 様
- 森 直子 様
- テンピュール・ジャパン 様
- 山田 政明 様
- シャトレーゼ御園店 様
- 兵庫栄養調理製菓専門学校 様
- 下山 順子 様
- 薦原 英里 様
- 福持 岩雄 様
- グル・ラム・チャンド 様
- （株）コバックス 小林 様
- 東洋水産（株）品質保証部 様
- 武庫之荘福音自由教会 様
- 岡野 博 様

### 寄付

- 株式会社トミテック 富田 英次 様
- 塚口住宅婦人会 様
- 津久井 進 様
- 西井 克泰・恵子 様
- 宮本 暢二 様

ボランティアに来て下さった方々

（四月～八月まで）

- 登録ボランティアの皆様
  - 尼崎レオクラブの皆様
  - お話ボランティア
  - ジオジオの会の皆様
  - 金光教尼崎教会の皆様
  - 紙芝居ボランティア
  - 古橋 りえ 様
  - 理容奉仕 TWIN'Sの皆様
  - 理容奉仕 ゆりか美容室の皆様
  - 人形劇のねこの手の皆様
  - 伯龍園設の皆様
  - スタジオ・ムーブの皆様
- （以上 順不同）

## 編集後記

田んぼの稲も黄金色に輝く季節に  
なりました。夏祭りや花火大会と、沢  
山の行事を子ども達と過ごし、私達も  
沢山の思い出ができました。夏休みも  
終わり、ランドセルを背に元気に学校  
へ行く子ども達。そんな姿を見ている  
と、たくましく成長してくれたことを  
嬉しく感じる今日この頃です。

(K・N)

---

---

---